

復興ありがとうホストタウン（第二次）自治体について

平成 30 年 1 月 5 日

自治体 (相手国等)	受けた支援の概要	取り組もうとする事業の概要
岩手県宮古市 (シンガポール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災で被災した宮古運動公園陸上競技場の備品購入費用としてシンガポール赤十字社から寄付金を頂いた。</li> <li>・宮古運動公園陸上競技場は、岩手県沿岸で唯一県大会規模の大会が可能な陸上競技場であったが、震災で全壊、2017年7月12日に再建が完成し、落成式が行われた。シンガポール赤十字社からの寄付金により、競技用器具が備えられたことが宮古運動公園の復活に大きく貢献した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンガポール陸上競技におけるオリンピック、パラリンピアンや小中学生を宮古運動公園陸上競技場に招待し、陸上競技交流大会等を開催。</li> <li>・招待した小中学生や関係者がたろう観光ホテルで実施している「学ぶ防災」に参加し、宮古市の防災の取組をシンガポールに発信することにより、シンガポールとの交流を促進。</li> <li>・シンガポールのオリンピック、パラリンピアンによる小中学校等での講演・実技指導。</li> </ul>
宮城県亘理町 (イスラエル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラエル親善大使のセリア・ダンケルマン氏が代表をつとめるNPO法人セリアの会を通じて、町の保育士（延べ100名）を対象に心に傷を負った子どもたちへの接し方についてのセミナー（講師：イスラエル人精神科医）を実施したほか、被災した町民を元気づけるためクロマグロの解体ショー・刺身の提供イベントを開催するなど、今日まで被災者支援を継続。</li> <li>・イスラエルの国際的復興支援団体とNPO法人セリアの会が協力し、町へ支援物資を届けたほか、被災者・児童・生徒を対象に、駐日イスラエル大使も参加のもと、絵や音楽を通し、心をほぐす芸術ワークショップを開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラエルをはじめとする国内外の寄付をもとにNPO法人セリアの会が亘理町に建設予定の「メノラー国際リーダーシップセンター」等を活用し、イスラエル大使館員やイスラエル人精神科医等、被災の際にお世話になった方々を招待し、復興状況の発信や交流会を行う。</li> <li>・町内小中学校生を対象に、駐日イスラエル大使館員によるイスラエルに関する特別授業を実施。</li> </ul>